

# こんなことあったよ！レポート

平成20年12月20日(土)

「わ」のまちづくり学習会 編



週末の午後にも関わらず、ごみナビ実行委員会のメンバーほか、環境のまちづくりに関心のある方々などが参加。



にこやかな表情と話術に皆さん引き込まれていきますが、内容は鋭く、色々なご経験を踏まえてのお話は市民にも行政にも耳の痛いことも。



ハローボランティアの語源は、職安のハローワークと知り、思わず聞き入ってしまうごみナビメンバー。

12月20日にあきたごみナビボランティア実行委員会主催の「わ」のまちづくり学習会」を環境の取り組みやまちづくり、福祉ボランティアなどの活動を実践している団体に呼び掛けを行い、約30人の方にご参加いただき、開催しました。

初めに「ごみナビ」の発祥地である三重県伊勢市のハローボランティアネットワークみえ代表の山本康史さんより「土手の花見～雰囲気づくりでまちづくり～」と題して、ごみナビを始めた経緯や波及効果、イベント支援から見てきたことなどについて講演していただき、何事においても雰囲気づくりが重要であり、良好な雰囲気が作ることで様々な効果が得られるということ学びました。

こういった講演というのは、得てして眠くなりがちなのですが・・・(笑) さすが雰囲気を重んじる山本さん、ユーモアを交えながら飽きさせない内容で、会場の皆さんも楽しくお聞きになったのではないかと思います(口下手な私としては、あの話術は尊敬に値します)。

続いて、あきたごみナビボランティア実行委員会 高橋陽子さん、のしろ白神ネットワーク 能登祐子さん、環境フリマ「能代エコ貯金」 保坂悦子さんよりそれぞれの活動内容の紹介や抱えている課題などについてお話していただき、行政との協働のあり方や今後の連携などについて意見交換を行いました。(行政としては、耳の痛い内容もありましたが・・・)

この学習会を機に、新しいネットワークができ、その結果、皆さんの活動がより充実したものになるよう、私も微力ながらお手伝いしていきたいと思います。

文：須田靖正



3団体の取り組みや課題の紹介がなされました(左から、高橋さん、保坂さん、能登さん)。会場の方々も交え、これからの連携や新たな活動提案などが話し合われました。これを機会に、より意欲ある市民の連携が進むとまちづくりは楽しくなりますね。